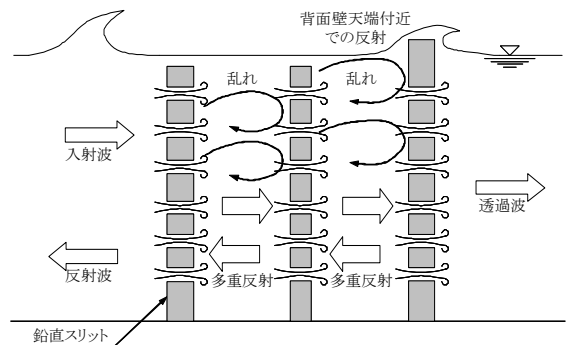
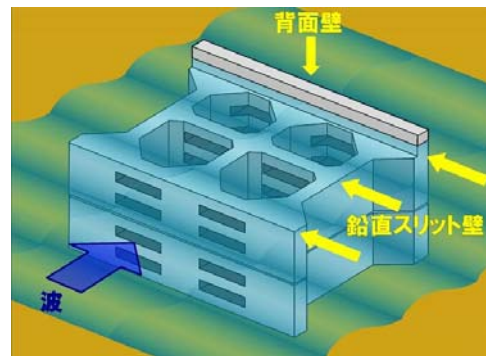


## 低天端有脚式離岸堤「バリアウィンT」の開発について

当社鳴尾研究所では、低天端有脚式離岸堤「バリアウィンT」を開発し、平成 22 年 3 月に財団法人土木研究センターの建設技術審査証明（建技審証第 0905 号）を取得しました。これによって、バリアウィン T が持つ消波性能、波力低減効果、高潮位時の消波性能が証明され、従来の「海域制御構造物」と同等以上の性能を持つことが確認されました。海域制御構造物は、駿河海岸など激しい海

岸侵食が進んでいる沿岸域において、海浜の安定化や背後地の防護だけでなく堤体背後に広がる静穏海域を利用した海洋性レクリエーションや水産資源の有効利用にも資することを目的に開発された構造物です。

バリアウィンTは、躯体が3枚の鉛直スリット壁から構成された箱型躯体を鋼管杭で海底に固定する構造となりますが、背面壁の天端（最も高い部分）が0.5mだけ水面上に表れるだけで、海岸からの視界を妨げることがありません（従来構造物では2～3m）。また、施工性にも優れ、堤体を上下二分割施工することで従来に比べて工費の大幅な低減を可能にしました。さらに、低天端構造に加えて透過構造であることから、海水交換は良好です。なお、従来のスリット式構造物で確認されている魚礁効果や海藻の着床基盤としての効果を発揮することも期待できます。腐食環境が最も厳しい飛沫帯の影響を受けにくい構造のため耐久性にも優れています。



バリアウィンの持つ消波メカニズムも明らかにされており、構造物を設計する際に必要な資料も整っています。さらに、施工法についても、同種の有脚式離岸堤の施工に対する豊富なノウハウをベースに計画することが可能です。これらは建設技術審査証明の報告書にも示されており、すぐにでも設計書、計画書が作れる段階に至っています。

地球温暖化による海面上昇がますます海岸侵食を助長するというシナリオが懸念される中、長い海岸線を持つわが国においては、海岸侵食から国土を守る重要性が今後ますます高まるものと考えられます。そのためにも、バリアウィンTの現地での適用を図り、安心・安全な国づくりに貢献していく所存です。

**東洋建設は、外洋の荒波から人命・財産を守る、安心・安全な国づくりをお手伝い致します**

（お問い合わせ）先

東洋建設株式会社企画部 濱田敏弘

東京都江東区青海二丁目 4-24 青海フロンティアビル

TEL 03-6361-5461